

平成28年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

施設名	大和市下和田児童館
指定管理者	大和市コミュニティセンター下和田会館管理運営委員会 会長 武藤 栄一
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

- ・児童館施設の承認に関する業務

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合 計	1日平均 (人)	開館日数
下和田	105	3,020	1,196	335	4,656	15	306

- ・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで（月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く）職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

- ・自主事業の計画及び実施（主な事業）

事業名	開催期間	参加者数
レングまつり	4/29	250人
母の日のプレゼント作り（牛乳パックで小物入れ）	4/29～5/8	10人
父の日のプレゼント作り（フェルトのコースター）	5/7～25	15人
七夕飾り作り	7/1～7	55人
七夕まつり・安全安心映画会 （カレーの会食・七夕のお話・ヨーヨーつり・輪投げ他）	7/3	77人
すいかわり・そうめん流し	7/23	114人
夏休み工作（へビが出るビックリ箱・はしおき他）	8/2～	延べ26人
卓球大会（夏休み）・（春休み）	8/20・3/26	20人・20人
コミセンまつり	11/6	65人
防災訓練	11/26	34人
クリスマス会（シチューの会食他）	12/11	58人
伝承遊び大会（大かるた・けん玉・羽つき遊び）	1/21	13人
防災訓練と節分（豆まき、恵方巻を食べる）	2/3	36人
ひなまつり（紙芝居・なぞなぞゲーム遊び他）	3/3	22人

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,514,000	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,378,310
雑入 (預金利息等)	6	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	128,874
収入計 (①)	2,514,006	支出計 (②)	2,507,184
収支決算	6,822		

※収支差額 6,822 円は平成 29 年度特別会計に繰り入れます。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、平成 29 年 4 月に利用者アンケートを実施し、平成 28 年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点 1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用事務については、条例等に則り適切に行なわれています。 児童館利用の人数が前年度比 106.5%と増加したことは高く評価します。成果のあった取組みについて振り返り、更なる発展に活かしてください。 「スタッフの対応」について、利用者アンケートの回答者の 93.8%（前年：85.7%）が「よい」～「ふつう」と回答しており、改善の努力の結果が見られ、高い水準を維持している点を評価します。 問題行動のある児童に対しても、指導員が児童の心情をくみ取ろうと努力し、継続的に児童と向き合って対応していた点を高く評価します。
評価の視点 2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> 様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。特に、児童が運営・企画・準備などに関わっている行事を多く企画し、児童館事業が異学年交流の機会となっている点は高く評価します。 中学生利用者の割合が 25.7%（全館平均 9.1%）と市内児童館の中でも高い中、できるだけ小学生を優先するように呼びかけるなど、高学年が低学年のお手本となるように生活指導をおこない、児童生徒同士のゆずり合いの気持ちを育てている点は評価します。 自主事業の企画内容や成果については、児童館指導員連絡会等を通じて積極的に他館へ情報発信することを期待します。また、工作への参加人数が少ないことについては他館の工作の企画を参考にするなど、児童が興味を持つような企画の広がりを図ってください。
評価の視点 3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> 日常の清掃が適切に行なわれる等、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点 4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断します。 指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。